

令和4年度

事業概要

社会福祉法人東桜会

目 次

法人の沿革	1
施設の概要	2
I 特別養護老人ホーム麻機園	2
II ケアハウス桜花	4
法人の理念	6
令和4年度事業計画	7
事業の状況	21
I 社会福祉法人東桜会	
〔1〕 法人の経営施設及び事業	22
〔2〕 組織図	23
〔3〕 職員の状況	24
〔4〕 理事会・評議員会の開催状況	25
〔5〕 財務規律の確立に向けた取組	28
〔6〕 低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度事業	28
〔7〕 地域社会への貢献	28
II 特別養護老人ホーム麻機園	30
III ケアハウス桜花	40
IV 在宅サービス	
【1】 麻機園（ショートステイ）	47
【2】 麻機園デイサービスセンター	48
【3】 麻機園ヘルパーステーション	52
【4】 麻機園ケアプランサービス	54

法人の沿革

昭和62年 1月	社会福祉法人、特別養護老人ホーム設立準備会発足
62年 9月21日	特別養護老人ホーム麻機園 建築工事着工
62年10月13日	社会福祉法人東桜会 認可
63年 3月20日	特別養護老人ホーム麻機園 竣工
63年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園 開園 (定員50名 ショートステイ4名)
63年10月 1日	麻機園デイサービスセンター 開始
平成 2年10月 1日	麻機園入浴サービス事業 開始
3年 7月29日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事着工
4年 1月 1日	麻機園在宅介護支援センター事業 開始
4年 3月 1日	麻機園ホームヘルプサービス事業 開始
4年 3月25日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事竣工
4年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園増床 (定員80名 ショートステイ20名)
8年 8月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 建築工事着工
8年11月 1日	麻機園食事サービス事業 開始
9年 3月31日	軽費老人ホームケアハウス桜花 竣工
9年 4月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 開設 (定員50名) 在宅介護支援センター、ヘルパーステーション併設
10年 4月 1日	麻機園デイサービス (E型) 事業 開始
11年 4月 1日	ホリデイサービス (B型) 事業 開始
11年10月 1日	麻機園ケアプランサービス 開始
12年 4月 1日	介護保険事業 開始
12年10月 1日	静岡市有永グループホーム 受託開始
14年 3月31日	麻機園食事サービス事業 終了
15年 3月31日	麻機園入浴サービスセンター事業 終了
15年12月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
18年 3月31日	麻機園在宅介護支援センター 委託事業終了
18年 4月 1日	介護予防事業 開始
19年12月20日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
20年 3月31日	静岡市有永グループホーム 指定管理業務終了
20年 8月31日	麻機園デイサービスセンター 営業日変更
22年 4月30日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型介護予防通所介護事業廃止
27年10月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 休止
28年 3月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更 (地域密着型) (定員18名)
28年12月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 廃止
30年 4月 1日	新総合事業 (通所介護・訪問介護) 開始

施設の概要

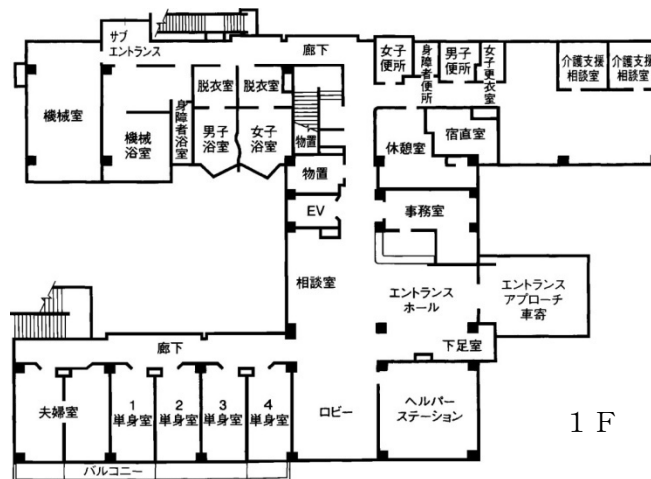
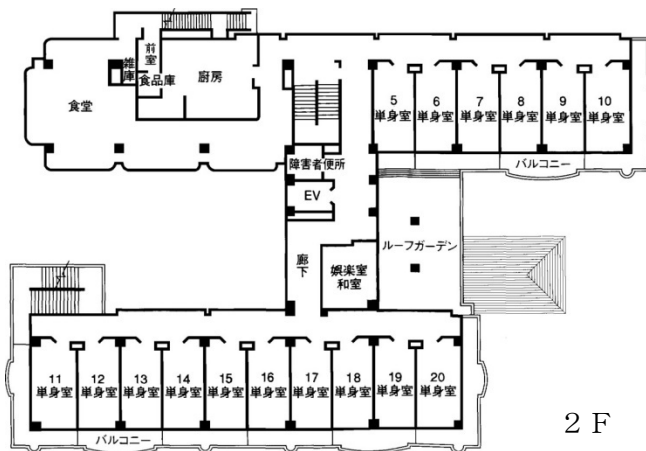
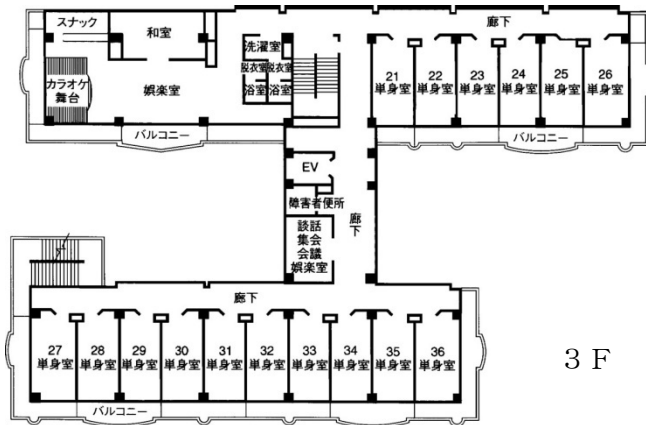
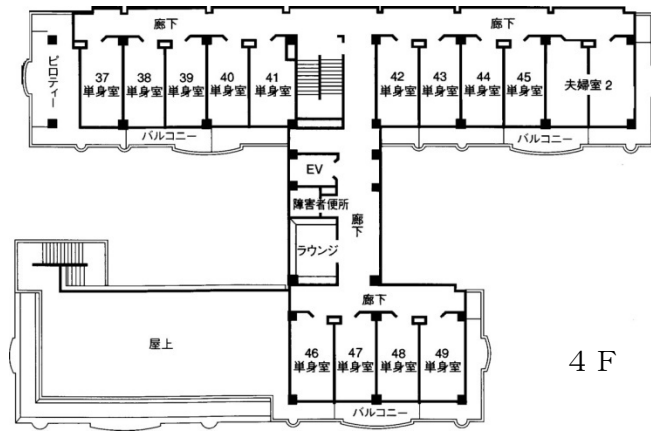
I. 特別養護老人ホーム 麻機園

1. 施設名称 麻機園 (あさはたえん)
2. 施設の種別 特別養護老人ホーム
3. 経営主体 社会福祉法人 東桜会
4. 所在地 静岡市葵区東527番地の1
TEL(054)247-8739 FAX(054)247-8640
5. 事業開始 昭和63年4月1日
6. 定員 80名 (介護老人福祉施設)
7. 併設事業 麻機園 (短期入所生活介護事業所) 20名
麻機園デイサービスセンター (地域密着型通所介護事業所) 18名/日
8. 構造 鉄筋コンクリート造 3階建
9. 敷地面積 8,322.20㎡
10. 建築面積 1,443.15㎡
11. 床面積 3,497.46㎡
 - 1階 1,148.40㎡
 - 2階 1,261.91㎡
 - 3階 1,087.15㎡

Ⅱ. ケアハウス桜花

- | | |
|----------|---|
| 1. 施設名称 | ケアハウス桜花 (けあほうすおうか) |
| 2. 施設の種別 | 軽費老人ホーム (ケアハウス) |
| 3. 経営主体 | 社会福祉法人 東桜会 |
| 4. 所在地 | 静岡市葵区東532番地の4
TEL(054)247-6663 FAX(054)247-6671 |
| 5. 事業開始 | 平成9年4月1日 |
| 6. 定員 | 50名 |
| 7. 併設事業 | 麻機園ヘルパーステーション (訪問介護事業所)
麻機園ケアプランサービス (居宅介護支援事業所) |
| 8. 構造 | 鉄筋コンクリート造 4階建 |
| 9. 敷地面積 | 3,020.58㎡ |
| 10. 建築面積 | 1,030.64㎡ |
| 11. 床面積 | 3,167.86㎡ |
| | 1階 915.85㎡ |
| | 2階 837.99㎡ |
| | 3階 804.96㎡ |
| | 4階 609.06㎡ |

12. ケアハウス桜花 平面図



《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永続し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

令和4年度事業計画

(各職種の目標に対する実績記載付)

《社会福祉法人東桜会 令和4年度事業計画》

〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
 - (1)介護老人福祉施設 麻機園
 - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
 - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
 - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
 - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
 - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
 - (1)要支援、要介護認定の訪問調査を行う（麻機園ケアプランサービス）
 - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業を行う（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
 - (1)介護予防プランの作成

〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域連携担当職員を配置し、法人が地域社会に貢献する取組みの業務を担わせる。新型コロナウイルス感染症に充分留意し、施設を開放した地域住民へのサービスや、地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。また、地域の民生委員や地区社協、放課後子ども教室実行委員会等と連携するなどして、地域住民と子どもたちの活動の機会が持てるようにサポートする。

〔4〕監事監査、理事会、評議員会等の開催予定

- | | | |
|------------|-----|----------------------------|
| ①監事監査 | 5月 | 令和3年度事務事業及び決算の審査 |
| ②第1回理事会 | 5月 | 令和3年度事業報告、決算及び定時評議員会予定 |
| ③定時評議員会 | 6月 | 令和3年度決算認定 |
| ④監事定期監査 | 10月 | 令和4年度定期監査 |
| ⑤第2回理事会 | 10月 | 令和4年度補正予算、事務事業の報告等 |
| ⑥第1回臨時評議員会 | 10月 | 令和4年度補正予算承認 ※補正予算がある場合 |
| ⑦第3回理事会 | 12月 | 事務事業報告等 |
| ⑧第4回理事会 | 3月 | 令和4年度補正予算及び令和5年度事業計画及び予算など |
| ⑨第2回臨時評議員会 | 3月 | 令和4年度補正予算及び令和5年度事業計画及び予算承認 |
- ※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには、臨時に理事会、評議員会を開催する。

〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①非常用自家発電設備設置
- ②ダムウエーター改修修繕
- ③居室網戸、外構フェンス等の改修取替
- ④業務の効率化・業務負担の軽減化の為、利用者見守り機器・ICTの導入
- ⑤空調設備更新修繕等
- ⑥電話設備更新
- ⑦感染症対策に係る設備等の改善・導入

2. ケアハウス桜花

- ①建物周囲地盤沈下への対応
- ②電話設備・課金装置、電気使用量等集中監視装置更新
- ③業務の効率化・業務負担軽減化に向けたICTの導入
- ④感染症対策に係る設備等の改善・導入

《特別養護老人ホーム麻機園》

〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 導入した介護記録システムに習熟し、情報共有等の効率化を図る。
4. 介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

〔2〕利用者処遇各職の目標

1. 相談員及び介護支援専門員

（目標1）入所者がその人らしく安心して暮らせるような環境創りに努める。

- ・入所者の思いを聴く機会をつくる。

入所者の居室を訪室し個々に話をする機会をつくる。

→居室や食堂で入所者とゆっくり会話をして思いを聴くことができた。

行事計画時入所者の意見を反映できるようにする。

→入所者の意見を取り入れることができた。

入所者個々に話を聴いた時には、記録を残し他職種と情報を共有しカンファレンス等に役立てる。

→記録システムを活用し情報を共有できている。

感染予防対策をして入所者の楽しみである行事等を中止せずに内容を検討して開催できるようにする。

→祭りや運動会等行事を行うことができた。散歩も積極的に行えた。

- ・家族の希望、意向を伺う機会をつくる。

電話連絡時や面会時等、家族の希望や意向を聴くように努める。

→家族の希望や意向を聴くことができた。面会の希望が多くあり状況を見ながら直接面会を再開した。

- ・入所者の様子を家族へ報告する機会を増やす。
家族説明会を開催できない時は代わりとして個別に電話や書面等でサービスの変更やワクチン接種等の情報提供を行う。
→定期的にワクチン接種等の情報提供を行った。
電話連絡時に入所者の様子を伝える。
→体調変化がある時は家族に連絡をしているが、他の理由で電話した時も現在の様子を伝えるよう努めた。体調変化時の連絡後、体調回復した時の連絡を忘れてしまう事があった。
直接面会の制限中は、ワイヤレスインターフォンを使用した窓越しの面会を継続し、入所者、家族が安心できるように努める。
→施設でクラスターが発生しているとき以外は面会を行うことができた。
- ・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。
→こまめにケアプランを見直しその人らしいプランを作成することができた。
- ・入所者が車椅子や靴、補助食器、付加食品等、必要としている物を検討し購入する。
→今年度は検討しなかった。

(目標2) 職員研修を行う

- ・職員会議、介護職会議を利用し計画的に職員研修を行う。
- ・職員全員が参加できる開催方法とする
- ・職員の知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。
- ・オンライン研修を外部講師に依頼する。
→今年度は感染症を中心に体験型の研修を実施した。防災の研修は不足している。

(目標3) 入所率を98%以上に保つ。

- ・優先入所検討委員会を適宜開催する。
- ・入所申込者に「麻機園に入所したい」と思ってもらえるようにする。
施設見学ができない状況でも園内の明るい雰囲気や伝えられるような説明を行う。
たとえ入所に繋がらないとしても申込者のニーズに合わせ、制度の説明や他サービスの説明を行うようにし、地域の福祉相談所としての役割を持つようにする。
→昨年度より利用率は上がったが98%には届かなかった。入所相談では親身に話を聞き地域の福祉相談所として制度の説明や他のサービスを紹介する等取り組めた。
- ・他特養相談員、老健相談員、ケアマネジャー等情報交換を行ない連携できるようにする。

(目標4) 感染症対策を行う

- ・必要物品の検討、及び購入を継続する。
- ・感染症の情報を職員に周知する。
→新型コロナウイルスの大規模なクラスターが2回発生してしまったが、物品の準備ができており慌てることなく対応できた。感染が広がってしまったことを考えるとゾーニングや職員の動きの見直しが必要。

2. 介護職

(1階の目標)

- ・職員同士、入所者に対しても優しさを添え、思いやりや責任を持って仕事をする
→職員、入所者に対し口調がきつい時があった。傾聴が足りなかった。話をするときには声の大き

さに気を付けて優しい口調で話し仕事をしていきたい。

- ・入所者に自分でできる事の喜びを感じてもらえるように援助する
→タオル畳みや俳句などの作品作りを通し自分でできる事の喜びや残存機能の維持向上に努めた。
- ・手洗いうがいのしやすい環境を整え、感染症を予防する
→洗面道具を個別にわかるように洗面所に用意した。手洗い、うがいの声かけをおこない感染予防に努めた。
- ・褥瘡の予防と改善に努める
→褥瘡がある方の完治はしなかった。悪化しない様に看護師と情報共有した。オムツ交換を増やしパットの当て方を検討、実施し患部が汚染されないようにした。
- ・1階職員同士、申し送りを確実にし、統一した介護を行う
→職員同士申し送りを確実にこない統一した介護ができるようにした。統一できていない時は再度申し送りをおこない情報共有をした。
- ・フロアの清潔を保ち、入所者の過ごしやすい環境を整える
→入所者が過ごしやすいように環境整備を心掛けたが常に整理整頓はできなかった。

(2階の目標)

- ・優しい表情・口調・態度で接する
→ほとんどの職員が行えていなかった。また自覚がない職員もいた。介護職会議後、職員会議後にフロア職員に接し方に注意するように伝えるようにした。
- ・褥瘡の予防と早期改善
→発見後、当日出勤している職員と看護師で話し合い、ケア方法を検討できている事が多かった
- ・担当居室内の掃除・整理整頓
→担当者により行えている職員と行えていない職員がいた。できていない時は、都度注意した。
- ・担当入所者との関わりを増やし、入所者のニーズや希望するケアを行う。記録を充実させる
→担当職員により差があった。又、職員により行ったことを記録する事の差もあった。
- ・離床後の布団の整理整頓、臥床後の衣類・車椅子・靴・膝掛け・カーテンを整える
→できている職員とできていない職員がいた。行えていない職員には、その都度注意した。
- ・報連相を徹底させ、統一した介護を行う
→申し送りノートに記入し、確認し統一した介護を行うようにしていた。しかし、内容を忘れてり、確認をしなかった事もあった。
- ・読み手が理解できる文章を書く
→誰にでも理解できる文章を書くことはできなかった。

(3階の目標)

- ・離床をしたら布団をしっかりと畳み、入所者の身だしなみを整える
→入所者の身だしなみは整えることができたがベットメイクが出来ていないことが多かった。
- ・ゆっくりと話を聴き、優しい口調で話す
→視線を合わせ、話をゆっくりと聞き、優しい口調で話すことができている職員が多い。しかし、強い口調になっている自覚のない職員もいる為、その都度注意している。
- ・褥瘡の予防、早期改善に努める
→皮むけが出来てしまった方はいたが、褥瘡対応（体位変換の回数を増やす・ポジショニング等）で悪化を防ぎ完治できた。

- ・フロア内を清潔に保ち、手洗いうがいを励行し、感染予防に努める
→汚れがあると都度清掃を行い清潔保持に努めた。外出時や食前食後に手洗いうがいも行っていたが11月にコロナウイルスの感染症が発症した。
- ・情報の共有、統一した介護を行う
→言葉での申し送りやノートを使って情報共有をしている。ほぼ統一した介護を取り組んでいる。
しかし、申し送り内容を忘れてしまうことやノートの確認を怠っていることもあり、その際には注意し確認を促した。
- ・前年度より転倒事故や入所者の怪我等を一件でも減らすことに努める
→令和3年度に比べ報告書の件数が多かった。介護職の問題で起こった事故の対策が申し送られ、現在は事故が防げているのかの確認も行う。
- ・入所者の状態変化を見逃さず、記録を充実させる。
→状態変化に気付けるように見守りや観察を行い、報告・記録が出来た。

3. 看護職

“安心で快適な生活が出来るよう健康面から援助する”

(目標1) 入所者の健康を維持すること。感染症予防を意識した看護対策。

- ・毎日の手洗い、うがい、建物の換気を実行するよう喚起し、感染予防に努め他職員にも啓発する。
→施設内に11月に2・3階で、12月～1月には1階フロアにコロナ感染症が広がった。今後も感染予防に努めて喚起、啓発を続けることが重要となった。
- ・入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。
→計画的に実施できた。

(目標2) 安らかに自然な看取りへの看護

- ・穏やかに終末期を過ごせる様な環境を作り他職種と共に作っていく。
→終末期の看護は他職種と協力して行う事ができた。

4. 機能訓練指導員

(目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない、個々に適した目標を設定する。
その目標に対し個別機能訓練を実施する。
→多職種と情報交換を行なうことでその方に合った目標を設定することができた。また目標に対しての個別機能訓練を行なえた。
- ・普段の生活の中で出来ることを増やし、その人らしく自立した日常生活の維持、向上に努める。
→概ねできた。
- ・拘縮予防や褥瘡の発生を防ぐため、適切なポジショニングを行なう。そのためポジショニングクッション等を導入したい。
→クッションの導入はできたが有効活用することができていないため来年度は有効活用したい。
- ・3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。
→できた。家族に会う機会は減ったが、面会時等に進捗状況を伝えた。

(目標2) 楽しんで生活してもらえるように援助する。

- ・集団機能訓練を1日1回30分間実施し、楽しさ、喜びを伴い、心身の健康や生活の質の向上に努める。
→できた。楽しんで運動してもらえるように心がけた。

- ・季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。
→できた。
- ・行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。また新型コロナウイルスの感染状況によるが、外出の機会を作り日常生活を楽しんでもらえるように援助する。
→行事には積極的に関わることができたが、外出の機会を作ることはできなかった。

5. 栄養・給食

(目標1) 安全安心で満足感を味わえるような食事を提供する。

- ・旬の食材を取り入れ、季節を感じられる献立や料理を充実させる。
→季節の食材を献立に取り入れた。
- ・食べる会を毎月実施し、入所者の方々に喜んで頂ける食事を提供する。
→コロナ感染があり、実施出来なかった月があったが、入所者の皆様に喜んで頂けた。
- ・嗜好調査を年1回実施し、献立に反映させる。
→できた。献立に反映出来るものは取り入れていく。
- ・衛生管理を徹底し、食中毒防止・感染症対策に努める。
→厨房内に菌を持ち込まないことを徹底し、感染対策に努めた。

(目標2) 栄養管理を徹底する。

- ・個々にあった栄養ケア計画書を作成し、定期的に見直しを行い、低栄養予防・改善を図る。
→体重測定を行い、入所者の体重管理を行った。アルブミン値が低い人には栄養補助食品を併用するなど、見直しをした。
- ・食事摂取量が低下してきた方には、高カロリー食品を取り入れるなど対応していく。
→他職種と連絡を密にし、積極的に取り入れた。
- ・ミールラウンドを行い、入所者の状態把握に努める。
→できた。
- ・多職種と情報交換を密にし、利用者に適した食事サービスに努める。
→できた。特に寮母と情報交換を行った。
- ・デイサービスの手作りおやつを手伝う。
→買い物、直前の器具の用意などは積極的に出来た。

(目標3) 災害時の給食体制を検討する。

- ・災害対応給食マニュアルを整備する。
→できなかった。
- ・備蓄食品の管理・見直しを行い、期限が近い食品は、献立に取り入れる。
→できた。消費期限内に消費し、献立に反映させた。

[3] 会議・研修

1. 会議の種類

(1) 全体

- ①職員会議 ②部門連絡会 ③在宅利用連絡会 ④厚生委員会 ⑤研修委員会
- ⑥広報委員会

(2) 麻機園

- ①優先入所検討委員会 ②介護職会議 ③リーダー会議 ④パート会議
- ⑤行事担当者会議 ⑥給食会議 ⑦安全委員会 ⑧衛生委員会 ⑨事故防止委員会

⑩感染症対策委員会 ⑪身体拘束廃止委員会 ⑫褥瘡予防委員会 ⑬食事委員会
⑭排泄委員会 ⑮入浴委員会 ⑯事故検討委員会 ⑰サービス検討会

2. 在宅部門を含めた全体会議を主催し職員相互の連携を計るとともに、定期的に部門毎、職種毎の会議を開く。
3. 委員会や担当者会議を開催し、利用者処遇の向上や、効率的な介護体制作りに努める。
4. 研修会、研究会、講習会等へWebによる参加の機会を増やし、資質の向上に努めるとともに、出席した職員の報告会を行う。

〔4〕 地域交流等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域活動への自粛が続く中、感染予防対策を優先しつつ、時期や内容を検討しながら地域の団体組織・人々と連携し地域貢献活動を行い、福祉の向上を目指します。

- ・施設を開放した地域住民へのサービス（さくらカフェ）はコロナ感染予防の為一時中止されているが、地域で行われている高齢者サロンやS型デイサービスに出向き介護予防にかかわる活動を行う。
→S型デイサービスや老人クラブより依頼があり、内容の希望を受け介護予防に関わる話しやレクレーションを「出張さくらカフェ」とし年6回5カ所で行った。
- ・地域の催事や訓練へ参加し、地域とのつながりを深める。
→地域の催事や避難訓練は縮小され、参加しなかった。「麻機地区認知症勉強会」の徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練に居宅支援事業所のケアマネ全員で参加した。
- ・在宅部門事業所職員と協力し在宅高齢者の困り事や介護相談を受け必要に応じ地域資源や公的サービス等に繋げる。
- ・地域住民に施設説明会等の機会を設け認知してもらう。
→介護相談を受け居宅介護支援事業所全体で対応した。

〔5〕 施設・設備

1. 建物及び付属設備等の老朽化に伴う必要な改修、修繕又は取替等を行う。
受電設備の更新、空調設備の補修、網戸の取替、天井壁等内装の補修他
2. 感染症対策に係る設備の導入等により、利用者処遇向上のため必要な住環境整備を行う。
3. 什器設備の適切な維持管理を行う。
4. 様々なテクノロジーの活用に向けて情報を収集し、業務の効率化、業務負担の軽減を推進する。

〔6〕 防災対策

1. 近年多発する土砂災害や水害等に対する備えを充実するために、自然災害に対する職員の防災知識を向上させると共に訓練を行い、避難方法等の検討、必要な備品等の整備を行う。
2. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行い、設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
3. 災害時のマニュアルの見直し及び体制を整備する。

〔7〕 感染症対策

1. 新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を収集するとともに、感染症対策用品や備品設備の整備を推し進める。

2. 感染症に関連する通知や制度の変更に関する情報の収集に努め、施設事業の経営に反映する。
3. 年間を通じて感染症に対する注意を払い、情報の収集に努めると共に、職員の感染症対策に対する知識を向上させるために研修・実習を行う。

《ケアハウス桜花》

〔1〕基本方針

安心して楽しく生きがいのある生活が送れるよう支援する。

〔2〕運営

（目標1）安定した入居率の運営を目指す。

- ・年間入居率95%以上を目指し稼働率の向上に努める。
→入居率90%と前年度よりも低い結果となってしまった。
- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等へ訪問し施設の紹介、空き状況など情報提供と営業活動を行う。
→事業所訪問はできなかったが、ケアマネや地域包括職員が訪問した際に、空き状況を提供した。
問い合わせがあった時には、パンフレット等を直接届けた。
- ・町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。
→感染症の影響もあり地域に向けての活動ができなかった。

（目標2）高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

- ・施設内外の設備を確認し必要な修繕を行い、安全に暮らせる環境を整える。
→5月に外壁工事が完了した。今後も引き続き必要な修繕を行っていく

（目標3）相談機能を充実させる。

- ・入居者からの相談に傾聴し、安心な生活が送れるように努める。
→入居者からの相談に傾聴し解決できるように努めた。
- ・地域住民や事業所などが相談しやすい環境を備える。
→地域住民に向けての活動はできなかった
- ・入居相談に対して「この施設に入居してみたい」との印象がもてるような接客を心がける。
→入居相談、施設案内時に丁寧な接客と説明を心がけた。

〔3〕入居者処遇

（目標1）健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

- ・感染症にかからないよう予防対策のため注意喚起、情報提供に努める。
→換気・手洗い・マスクの着用等基本的感染予防対策の徹底を注意喚起した。
- ・入居者の健康、生活上の相談をしやすい環境を作る。
→入居者からの相談には常に傾聴している。
- ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
→特定健診など健康診断受診を勧め、結果を報告してもらっている。
- ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
→かかりつけ医と連携し情報提供を行った。
- ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを提案し円滑に利用できるように支援する。
→入居者の身体状況を把握しケアマネと連携しサービスが利用できるよう支援できた。
- ・入居者の近況の生活状況を報告し信頼関係を構築する。

→面会時などに生活状況を家族に報告している。必要に応じ電話で報告している。

(目標2) 残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

・地域交流の機会を作る。

→感染症の影響によりボランティア等外部からの受け入れができなかった

・「にじサロン」を継続的に開催し工夫のある余暇活動を提供する。必要な物品を購入し体操や脳トレなど機能低下を予防する活動を行う。

→にじサロンは定期的で開催しているが、内容の工夫が必要

・感染症対策を講じた上で、喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し入居者間の交流の機会を設ける。

→毎月、季節を感じられる内容で喫茶を開催した

・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。

→地域で行われる行事を掲示した

〔5〕 会議・研修

1. 在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。

2. 職員の資質向上のため外部研修に参加する。

3. 入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。

(会議の種類) ①桜花会議 ②入居者処遇会議 ③給食会議

〔6〕 施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。

・外壁工事の作業内容を入居者に伝達し事故のないように注意喚起する。

・正面玄関、裏玄関段差、および付帯設備の修繕を行いたい。

→無事故で外壁工事が完了した。

〔7〕 防災対策

1. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。

→机上シミュレーションを行っていききたい

2. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。

→月刊誌で情報提供した。

2. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。

3. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。

→2回実施し多くの入居者が参加した。

4. 備蓄品(非常用食品、防災用物品など)を購入したい。

〔8〕 感染症対策

1. 施設内の消毒、換気など感染症予防を徹底する。

→定時に換気を行い、入居者にも呼び掛けている

2. 入居者に毎朝の体温を報告してもらい発熱、体調変化に留意する。

→普段より体温の高い入居者や風邪症状ある方は居室待機とし健康観察し、必要に応じ受診をする等対応した。

3. ワクチン接種等が円滑にできるよう手続きなどの援助を行う。

→ワクチン接種の予約の援助を行った

4. 研修等で感染症対策に対する知識を高めるよう努める。

5. 入居者に対して情報提供すると共に、感染症対策に対する知識を向上させる。

→掲示物や口頭で感染症予防対策の呼びかけをしている

〔4〕栄養・給食

(目標1) 快適な食環境づくりに努め、安全で楽しみのもてる食事を提供する。

- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
→地元食材を取り入れることは出来なかった。一品でも導入できるように委託業者と話し合いを行っていききたい。旬の食材を取り入れる努力は出来たが、食材費等の予算の都合上使えない場合もあった。買い物へ行く機会が少ない入居者に食材から季節を感じ取ってもらえるように食材の旬を意識して使用していききたい。
- ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
→実施できた。飽きのこない食事を提供できるようより一層の充実を図っていききたい。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
→概ね出来た。楽しみにしている入居者もいるので、引続きソーシャルディスタンスを守り開催していききたい。
- ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
→大量調理マニュアルに沿って衛生管理が行えており、衛生管理書類もきちんと整備されている。事故もなく安全な食事の提供が出来た。引続き、徹底していききたい。
- ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。
→植物だけではなく、入居者の作品からも季節の移り変わりを実感することが出来た。

(目標2) 健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。

- ・健康診断結果を基に栄養状態を把握し、食事面からの健康維持・増進を図る。
→健康診断結果を基に助言することは出来た。記録を残していききたい。
- ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。
→実施できた。今後も栄養に関する話題を提供していききたい。
- ・日々の連絡や会議等を利用して情報の交換・共有を徹底する。
→概ね出来た。情報の共有を引続き徹底していききたい。

(目標3) 災害時の給食体制を強化する。

- ・災害時給食マニュアルを作成する。
→できなかった。
- ・備蓄食品の整備・点検を行う。
→概ねできたが、入居者に合わせた形態に変更していく必要がある。
- ・炊き出し訓練を年1回実施する。
→訓練日を設けては出来なかった。台風被害があった際に実践する形になった。反省点を踏まえ、訓練を行っていききたい。

〔5〕会議・研修

1. 在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。
2. 職員の資質向上のため外部研修に参加する。
3. 入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。

(会議の種類) ①桜花会議 ②入居者処遇会議 ③給食会議

《在宅サービス》

〔1〕 麻機園ショートステイ

（目標1）年間を通して稼働率75パーセントを目指す

- ・ケアマネジャーへ空床情報を提供することにより稼働率の向上を目指す。
- ・長期入所を希望している利用者に対して、居室の連続での空きが出た場合はロングショートへの変更を提案する。
- ・ロングショート利用者が入所もしくは、病院入院等になった時はケアマネジャーに対して空きができたことを伝え新規の利用者につなげる。
→稼働率は40%から68%で平均で53%で目標には到達しなかった。ロングショートの空き状況、利用希望者の把握がしっかりとできておらず、空きができた時の次の人への敏速な情報提供ができなかった。

（目標2）よりよいサービスを提供する。

- ・本人、家族の意向、状態を踏まえ、各部署職員（相談員、看護師、介護職、栄養士等）との情報を密にすることにより、よいサービスが提供できるようにする。
- ・新規利用時は、できるだけ多くの情報の収集に努め、本人、家族、ケアマネジャーの意向に沿ったサービスが提供できるようにする。
- ・利用前の本人の身体状態の情報を収集し、前回からの利用期間の長短にかかわらず状態にあった適切なサービスが提供できるようにする。
- ・状態変化時等は、家族及びケアマネジャーに敏速かつ的確に情報の提供を行い、安心して利用していただけるようにする。
→情報についてはできるだけ多く収集し、早い段階での各部署への情報提供を行う事により入所前に対応方法、居室の場所等、様々な視点から考えることができリスクの低減、良いサービスにつながるよう努めることができた。
→状態変化時、事故時、受診後等適宜、家族、ケアマネジャーに伝えることができた。

（目標3）感染症予防対策

- ・施設内に感染症を持ち込まない、外部に持ち出さないように利用前の、本人及び家族の生活状況、健康状態をより詳しく聞く、また本人、施設、送迎車両等の感染対策を徹底する。
- ・施設内で感染症が発生した場合は、家族、ケアマネジャー等に情報を提供し、本人、家族、他事業所等が不安なく生活が継続できるようにする。
- ・家族、ケアマネジャーとも施設の見学、居室での面会が難しい為、写真等を使つての情報提供を行い生活のイメージをもち安心していただけるようにする。
→感染対策については、利用前の状況の聞き取り、検温、消毒、必要に応じて抗原検査をすることにより感染者の持ち込みを防ぐことができた。
→施設での感染症の発生状況、対策等を適宜伝えることにより、家族が不安なくサービスが利用できるように努めた。

（目標4）緊急利用にもできる限り対応する。

- ・本人の状態変化、介護者の急変等で急にショート利用の必要性がでた時には、ケアマネジャーと連携をとりできる限りの情報収集し受け入れるようにする。
→緊急でも、情報を精査し対応できる状態であった場合は受け入れた。

（目標5）長期間利用にもできる限り対応する。

- ・施設への長期入所を希望しているが施設入所までに時間がかかる場合等は長期間のショートという形で受け入れるようにする。

→長期入所者希望者でショートステイ長期間利用で対応可能な人のしっかりとした把握ができておらず、空きができた時の提案ができなかった。

〔2〕麻機園デイサービスセンター

（目標1）平均利用者数12人をめざす

→「平均利用者12人をめざす」と掲げていたが、平均利用者数は9.1人で目標を下回った。

新規利用者が少なく、営業活動が出来ていないことや、施設利用により終了になってしまったことが主な理由だと思う。また、問い合わせがあっても、お試し利用出来ないことで話が進まず、新規利用者の獲得につながらないこともあった。

- ・利用者に季節を感じてもらえる野外活動やレクリエーションを提供する。
→園外散歩や遠足などに行き利用者に季節を感じてもらえる活動ができた。
- ・看護師や機能訓練指導員と協力し、下肢筋力の維持、向上に努める。
→看護師や機能訓練指導員と協力し、下肢筋力維持の体操やリハビリ体操をほとんど毎日行うことができた。
- ・営業活動をおこない、相手に印象に残るアイテムを作成し新規利用者の獲得に繋げる。
→営業活動をほとんど行うことが出来ず新規利用者の獲得につなげることができなかった。
- ・転倒予防体操を強化し、利用者が少しでも長くデイサービスを継続して利用してもらえるようにする。
→リハビリ体操で転倒予防体操を行い利用者に少しでもデイサービスを長く利用してもらえるようにし、また転倒等の事故なく安全に外出できるよう援助することができた。

〔3〕麻機園ヘルパーステーション

（目標1）住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。

- ・利用者が何を望んでいるか想像し、利用者の気持ちを知らうと努める。
→利用者の言動の意味を考え、生活パターンを把握に努めた。
- ・「利用者を不安・不快にさせない」を目指し安心感を与える。
→利用者の言葉・動作に対し、待つことや傾聴する姿勢を持って接した。
- ・報・連・相と情報共有「観察・報告・記録」の徹底する。
→口頭・回覧・会議等で情報共有に努めたが、報告や伝達もれや変更事を忘れるミスもある為日々繰り返し確認し合い、手順書を都度渡すことを徹底する。
- ・感染予防の徹底（感染しない・うつさない）
→予防に努めていたが、ヘルパーに感染者がでてしまった。幸い利用者にはうつすことがなくよかった。

（目標2）利用者・稼働率をあげる。

- ・利用者30人、毎月稼働率50%以上を目指す。
→利用者は30人に満たなかったが、稼働率50%～60%で経過
- ・居宅介護支援事業所への報告（情報・対応）は的確・迅速に行い連携を図る。
→体調や状況に変化等その日のうちに連絡するように努めた。

[4] 麻機園ケアプランサービス

(目標1) 地域支援を行いながら地域の方の相談を受け、困っている方の支援を行っていくことができる。

- ・地域の行事に参加したり地域の介護の勉強会で講師を受けながら、困っている方の介護相談を行い介護保険の申請が必要な場合は支援していく。

→年度初めはS型デイ等に参加したが、途中感染症のため地域の集まりが亡くなってしまった。また年度末より再開し始めたため参加できるものには参加している。

(目標2) 感染予防に努めながら医療や多職種との連携方法を密に行うことができる。またそのための技術を習得できる。

- ・検温、消毒等感染予防を徹底する。

→毎日行うことができた。

- ・医療や他職種との連携を密にし、情報を共有する。

→感染症対策を行いながら、面談できない時には電話にて情報共有を行うことができた。

- ・利用者の多様なニーズに対応できるよう自己研摩に努め、幅広い知識をもつ。

→WEBでの研修や事業所（訪看や福祉用具）を呼んでの研修を月に1回程度行い、参加することができた。

(目標3) コロナ禍において利用できる地域資源を活用し、利用者の自立支援を図ることができる。

- ・インフォーマルサービスの活用を意識しながらプランの作成をし、利用者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援していく。

→インフォーマルサービスは積極的にプランに組み込むことができたが、コロナ禍において利用できる地域資源が家族以外ほとんどなくあまり利用できなかった。

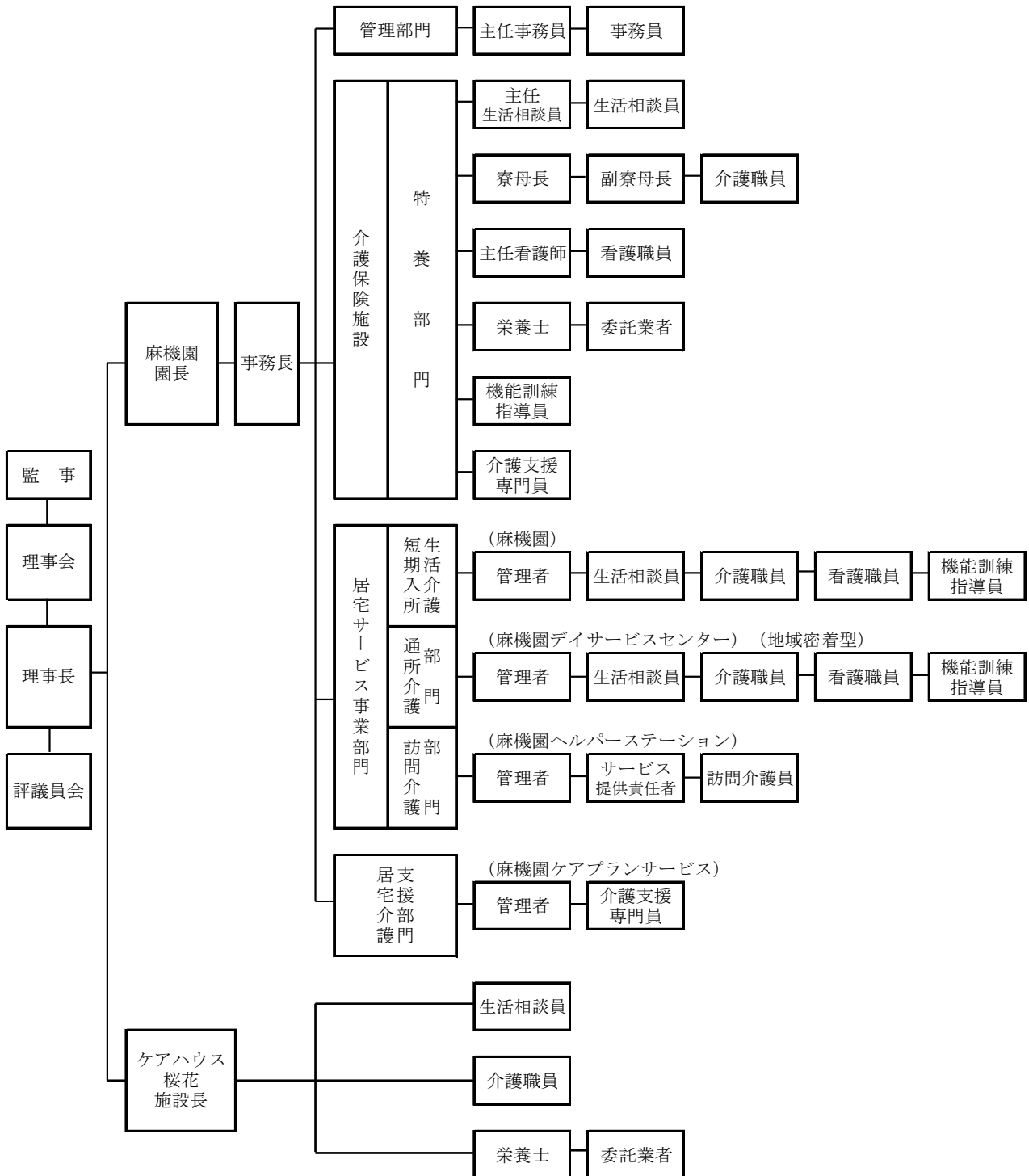
事業の状況

I. 社会福祉法人東桜会

〔1〕法人の経営施設及び事業

		社会福祉法による分類	介護保険法による分類
凡例		上段 : 種別	上段 : サービスの種類
		下段 : 施設又は事業所名	下段 : 事業所名
第一種	1	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
		麻機園	麻機園
	2	軽費老人ホーム	
		ケアハウス桜花	
第二種	3	老人デイサービス事業	地域密着型通所介護 第1号事業【通所介護相当サービス】
		麻機園デイサービスセンター	麻機園デイサービスセンター
	4	老人短期入所事業	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護
		麻機園	麻機園
	5	老人居宅介護等事業	訪問介護 第1号事業【訪問介護相当サービス】
		麻機園ヘルパーステーション	麻機園ヘルパーステーション
公益事業	6		居宅介護支援
			麻機園ケアプランサービス

[2] 組織図



〔3〕 職員の状況

1. 所属別職員数(令和5年3月31日)

	麻機園	桜花	デイサービス センター	ヘルパー ステーション	ケアプラン サービス	計
施設長 (管理者)	1	1	〈1〉	〈1〉	〈1〉	2
事務員	2					2
生活相談員	3 〈2〉	1	2 (1)〈2〉			6(1)
看護職	5 (2)〈3〉		3 (2)〈3〉			8(4)
機能訓練 指導員	1		2 〈2〉			3
介護職	41 (16)	2	2 (2)〈1〉			45(18)
栄養士	1	1				2
ホームヘルパー				5 (3)〈1〉		5(3)
支援専門員	2 〈2〉				3 〈1〉	5
その他	7(7)	4(4)				11(11)
医師	1(1)					1(1)
合計	64(26)	9(4)	9(5)	5(3)	3	90(38)

※ () 内は非常勤で再掲、〈 >内は兼任

2. 職員の資格(令和5年3月31日)

介護福祉士	39	介護支援専門員	13	認知症介護実践 (実践者) 研修終了	8
社会福祉士	4	介護職員初任者 研修終了	22	認知症対応型サービス 事業管理者研修終了	3
社会福祉主事任用	16	介護福祉士養成実習 施設指導者研修終了	5	認知症介護指導者 養成研修終了	1

〔4〕役員会・評議員会等の開催状況

《監事監査》

1. 日 時 令和4年5月19日(木) 午前10時から午後2時
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席監事 永野 守 望月敏弘
4. 出席理事等 長谷川達也 秋山 通 佐藤勝洋 塩沢水尾子 小野田武留 海野隆由

《第1回理事会》

1. 日 時 令和4年5月25日(水) 午後2時から午後3時10分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 10名
長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
4. 出席監事 永野 守
5. 欠席監事 望月敏弘
6. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和3年度会計決算(案)及び監事監査報告について
- 第3号議案 令和4年度第一次補正予算(案)について
- 第4号議案 令和4年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
- 第2号 令和4年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業について

《定時評議員会(通算第6回)》

1. 招集年月日 令和4年5月25日
2. 開催日時 令和4年6月15日(水) 午後2時から午後3時
3. 開催場所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
4. 出席評議員 10名
岡田善雄 山田 誠 平井哲男 帯金 武 深井千恵子
船城秀樹 伊藤秋一郎 飯田道隆 池田祐治 繁田 修
5. 欠席評議員 田村みね子 望月公二
6. 出席理事 長谷川達也 秋山 通
7. 出席監事 望月敏弘
8. 審議事項
第1号議案
1. 令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録承認の件
2. 令和3年度事業報告承認の件
3. 監事監査報告
第2号議案

令和4年度第一次補正予算承認の件

《第2回 理事会》（決議の省略）

1. 決議事項の提案をした日及び理事の氏名 令和4年6月8日 理事長 長谷川達也
2. 理事会の決議があったものとみなされた日 令和4年6月18日
3. 議決に加わることのできる理事総数 10名
4. 異議を述べることのできる監事総数 2名
5. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 給与・退職金規程の改正（案）について
第2号議案 準職員就業規程の改正（案）について

《第3回理事会》（決議の省略）

1. 決議事項の提案をした日及び理事の氏名 令和4年8月31日 理事長 長谷川達也
2. 理事会の決議があったものとみなされた日 令和4年9月9日
3. 議決に加わることのできる理事総数 10名
4. 異議を述べることのできる監事総数 2名
5. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 育児・介護休業規則の改正（案）について
第2号議案 ハラスメント防止規程の制定（案）について

《第4回理事会》

1. 日 時 令和4年10月20日(木) 午後1時から午後1時 分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 10名
長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
4. 欠席理事 なし
5. 出席監事 永野 守
6. 欠席監事 望月敏弘
7. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 定款変更（案）について
- 第2号議案 給与・退職金規程の改正（案）について
- 第3号議案 令和4年度第1回臨時評議員会の日時及び場所及び並びに目的である事項等について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
 - (1) 令和4年度の職員採用退職状況について
 - (2) 介護保険システム（ワイズマン）のリース契約の更新について
 - (3) 厨房業務委託業者（富士産業(株)）との契約内容の見直しについて
 - (4) 令和3年度介護職員処遇改善及び介護職員等特定処遇改善の実績について

(5) 令和4年度半期事業報告
第2号 監事の定期監査報告

《第1回 臨時評議員会》

1. 日 時 令和4年11月10日(木) 午後2時から午後2時40分
2. 場 所 静岡市葵区東532-4 ケアハウス桜花 1階ヘルパーステーション
3. 出席評議員 12名中 8名
山田 誠 帯金 武 田村みね子 船城秀樹
伊藤秋一郎 飯田道隆 池田祐治 繁田 修
4. 欠席評議員 岡田善雄 平井哲男 深井千恵子 望月公二
5. 出席理事 長谷川達也 秋山 通
6. 審議事項
第1号議案 定款変更承認の件

《第5回決議の省略理事会》

1. 日 時 令和4年12月5日
2. 議事

【決議事項】

第1号議案 令和4年度 社会福祉法人東桜会特別養護老人ホーム麻機園非常用自家発電設備設置工事の実施について

【設計業者】 環設備設計事務所 (別添資料)

【設計金額】 19,140,000円 (別添資料)

【指名人】 7者 (別添指名人名表)

【指名競争入札予定日】 令和5年1月初旬から中旬の間

【工事期間】 契約日から令和5年3月31日を予定

《第6回理事会》

1. 日 時 令和5年3月15日(水) 午後2時から午後3時30分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 10名
長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
4. 欠席理事 なし
5. 出席監事 永野 守
6. 欠席監事 望月敏弘
7. 議事

【決議事項】

第1号議案 令和4年度第二次補正予算(案)について

第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について

第3号議案 令和4年度第2回臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

第4号議案 給与・退職金規程の改正(案)について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
- ・麻機園介護分野ICT化等事業補助金事業の実施状況について
 - ・令和4年度麻機園非常用自家発電設備設置工事について
 - ・職員の採用退職状況について
- 第2号 静岡市指導監査及び運営指導の結果について
- 第3号 補助金について
- 第4号 新型コロナウイルス感染状況について
- 第5号 静岡市介護保険課からの虐待疑い通知への対応について

《第2回 臨時評議員会》

1. 日 時 令和5年3月29日(木) 午後2時から午後2時40分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 麻機園2階会議室
3. 出席評議員 11名中 9名
岡田善雄 平井哲男 帯金 武 田村みね子 伊藤秋一郎
飯田道隆 池田祐治 繁田 修 望月公二
4. 欠席評議員 山田 誠 船城秀樹
5. 出席理事 長谷川達也 秋山 通
6. 審議事項
第1号議案 令和4年度第二次補正予算承認の件
第2号議案 令和5年度事業計画及び予算承認の件

〔5〕財務規律の確立に向けた取組

公認会計士の活用

会計士の氏名	回 数	活用状況
河俣会計事務所 河俣貴之	12回	毎月1回、決算時期1回来所

〔6〕低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度

実施状況

	区 分	延人数	軽減総額
1	特別養護老人ホーム麻機園	141人	1,997,053円
2	麻機園(ショートステイ)	24人	220,301円

〔7〕地域社会への貢献

1. 相談受付件数

区 分	男	女	計
件 数	3	8	11

2. 地域貢献訪問活動

	開催日	訪問先・団体等名称	内容
1	4年 6月22日	北団地S型デイサービス	お手玉を使ったレクリエーション
2	9月15日	北S型デイサービス	転倒予防と福祉用具について
3	10月27日	東S型デイサービス	介護予防フレイルについて
4	5年 2月3日	北団地S型デイサービス	介護予防の体操、けん玉を使ったレクリエーション
5	3月15日	猿田川老人クラブ	介護予防体操、ゲーム、紙芝居

3. 職員の研修受講状況(令和5年3月31日)

研修日	研修名	主催	受講人数
4年 6月18日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	県社会福祉人材センター	1名
7月28日	デイサービスのリスクマネジメントセミナー	あいおいニッセイ同和損保	1名
5年2月22日～3月1日	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	3名

〔8〕建物・設備の修繕・改修等他の実績

項目	内容
4年 11月	デイサービスセンター、ヘルパーステーション 介護記録システム導入(介護分野ICT化等事業費補助金事業(ICT導入支援事業))
12月	麻機園 機械浴設備入れ替え工事(介護分野ICT化等事業費補助金事業(介護ロボット))
5年 2月～3月	麻機園 非常用自家発電設備設置工事

II 特別養護老人ホーム麻機園

〔1〕行事等

1. 日課の概要

時間	入所者	職員
6:00	起床	顔拭き
6:30	お知らせ放送	日課放送
7:30	朝食	食事介助
8:30	ラジオ体操	朝礼
8:45		排泄介助
9:15	入浴	申し送り
9:30	水分補給	入浴介助 一般浴(火・金)～11:30 機械浴(月・木)～11:30 チェアバス(水・土)～11:30
10:00	午前の活動レクリエーション (習字クラブ・園芸クラブ)	
12:00	昼食	食事介助
13:15	ティールームさくらんぼ(毎火)	排泄介助・上半身清拭
14:00	入浴	入浴介助 一般浴(火・金)～15:30 機械浴(月・木)～15:35 チェアバス(水・土)～15:35
15:00	レクリエーション(3階)	おやつ介助・水分補給
15:30		
15:45	おやつ	排泄介助
16:30	さくらんぼの会(移動売店)	申し送り
17:00	機能訓練(1・2階)	
17:30		食事介助
18:00		口腔ケア
19:00	夕食	排泄介助
20:00		検温・与薬
21:00	服薬	戸締まり
22:00	消灯・就寝	巡視・水分補給
23:00		巡視・排泄介助・体位交換
0:00		巡視・体位交換
		巡視・体位交換
4:30		排泄介助
5:00		検温

出勤 7:00

↑

出勤 9:30

↑

休憩 11:30-12:30

↓

10:00 退勤

↓

休憩 12:00-14:30
の間に1時間

↓

16:00 退勤

↓

18:30 退勤

↑

出勤 17:00

↑

仮眠
22:00-0:00
23:30-1:30
0:30-2:30
2:00-4:00

2. 月別行事

月	行事・活動内容
4年 4月	・開園記念日・花見
5月	・変わり湯(菖蒲湯)
6月	・なめらか食の食べる会(プリンアラモード)
7月	・七夕
8月	・物故者の冥福を祈る式典・流しそうめんを食べる会・変わり湯(ミント湯)
9月	・敬老会・BBQを楽しむ会
10月	・運動会・レクリエーション大会・あさはたえん祭り
11月	
12月	・変わり湯(ゆず湯)
1月	・初詣
5年 2月	・節分
3月	・花見・変わり湯(しっとり湯)

3. 定期的に行なう行事

(1) ティールーム さくらんぼ (火曜日)

月	回数	提供内容	参加人数(短期)
4年 4月	4回	コーヒー・紅茶等・ワッフル・富士の名月・たい焼き・ドーナツ	80名(0名)
5月	5回	コーヒー・紅茶・新茶等・きみじぐれ・パフェ・今川焼・お菓子	100名(0名)
6月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・たい焼き・パンケーキ・富士の名月	84名(0名)
7月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・たい焼きアイス・かき氷・酒饅頭	106名(2名)
8月	5回	コーヒー・紅茶等・ところてん・ロールケーキ・かき氷・アイス	115名(0名)
9月	4回	コーヒー・紅茶等・黒糖まんじゅう・ドーナツ・今川焼	78名(2名)
10月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・スイートポテト・お汁粉・練り切り	63名(0名)
11月	1回	コーヒー・紅茶等・ワッフル	21名(0名)
12月	2回	コーヒー・紅茶等・酒まんじゅう・黒糖まんじゅう・富士の名月	22名(0名)
5年 1月	1回	コーヒー・紅茶等・塩豆大福	15名(0名)
2月	4回	コーヒー・紅茶等・たい焼き・パンケーキ・焼き芋・お汁粉	88名(0名)
3月	3回	コーヒー・紅茶等・苺プリン・ワッフル・さくら餅	63名(0名)
延実施回数	41回	延参加人数	835名(4名)

(2) その他

行事名等	実施頻度・日程
さくらんぼの会(園内売店)	月曜日～土曜日
誕生者のお好み食	誕生月(該当者)

入所者健康診断	令和4年5月16日～5月18日・令和4年10月17日～10月20日
職員健康診断	令和4年6月 2日～6月30日・令和4年10月 3日～10月18日

4. クラブ活動

(1) 園芸クラブ

月	内 容	参加延人数
4年 4月	顔合わせ	5名
5月	ミニトマトの苗植え	5名
6月	お花の寄せ植え	5名
7月	ミニトマトの収穫	5名
8月	ミニトマトの片付け・お花の寄せ植え剪定	6名
9月	じゃがいもの種芋植え・生け花	6名
10月	じゃがいもの手入れ	4名
11月	中止	
12月	じゃがいもの収穫	5名
5年 1月	中止	
2月	中止	
3月	中止	
延参加人数		41名

5. その他随時

名 称 等	内 容 等
レクリエーション(寮母)	園外散歩、体操、輪投げ、歌、紙芝居等

〔2〕 ボランティア

1. 実習・体験学習

日 程	実 習 等 委 託 先 ・ 名 称	人 数
5月25日 ～ 5月26日	静岡市立籠上中学校「職場体験」	4名(延 8名)
6月27日 ～ 7月 8日	静岡県立北特別支援学校高等部「職場体験」	1名(延10名)
8月 8日 ～ 8月26日	静岡県ボランティア協会「サマーショートボランティア」	6名(延30名)
計		11名(延48名)

※その他コロナウイルス感染症の為、中止になった実習が複数あり

〔3〕 会議等

内 容	開催・実施状況等
会 議（月例）	職員会議・部門連絡会・給食会議・在宅利用連絡会・介護職会議・パート職会議
会 議（随時）	ヒヤリハット検討会・優先入所検討委員会・苦情解決会議・ショート会議 チューター会議
委 員 会（隔月）	褥瘡対策委員会・身体拘束廃止委員会・感染症対策委員会・事故防止委員会
苦 情 解 決 会 議	令和4年4月15日
優先入所検討委員会	令和4年4月15日・令和4年7月26日・令和5年1月11日
夜 間 消 防 訓 練	令和5年3月22日
土砂災害に対する防災訓練	令和4年9月24日
監 査 等	静岡市指導監査・運営（実地指導） 令和5年1月24日

〔4〕入所者の状況

1. 年齢及び入所期間別入所者数（3月末日現在の入居者）

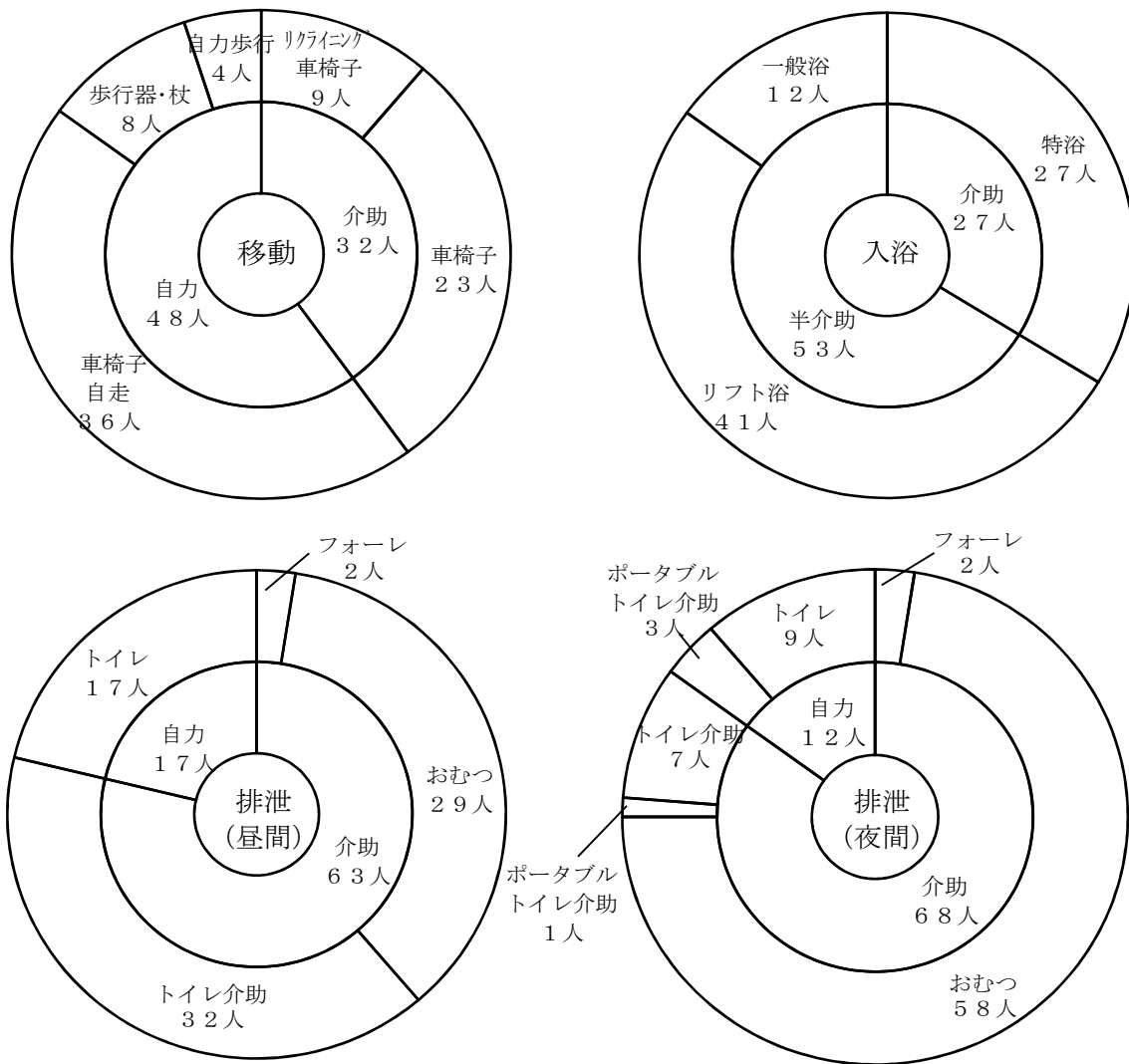
区分	入 所 期 間								入所者数	%
	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上			
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	男	0	0	0	0	0	1	0	1	2.5
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	
75～79	男	2	0	0	0	0	0	0	2	6.3
	女	0	0	0	1	0	1	1	3	
80～84	男	1	1	0	0	0	1	1	4	25.0
	女	5	1	1	3	2	3	1	16	
85～89	男	0	1	0	1	0	0	0	2	23.7
	女	3	6	3	0	0	0	5	17	
90～	男	2	1	0	0	0	0	0	3	41.2
	女	5	4	5	2	4	8	2	30	
合 計	男	5	3	0	1	0	2	1	12	100
	女	14	11	9	6	6	18	4	68	
	%	23.7	17.5	11.3	8.8	7.5	25.0	6.2	100	
	男	平均入所期間		3年5ヶ月	平均年齢		84.1歳			
	女			3年9ヶ月			88.6歳			
	総			3年8ヶ月			87.9歳			

※「平均年齢」及び「平均入所期間」欄は少数点第2位以下を四捨五入しています。

2. 要介護度別入所者状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	1.1
要介護3	19	19	18	19	20	19	20	18	18	18	17	18	223	23.2
要介護4	36	36	34	34	33	31	30	33	31	31	34	32	395	41.2
要介護5	25	25	25	26	26	29	30	28	30	29	29	29	331	34.5
計	80	81	78	80	80	80	81	80	80	79	81	80	960	100
平均要介護度	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	

3. 日常生活動作（3月末日現在の入所者）



4. 入退所

(1) 月別延人数及び入退所人数（入院者を除く）

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延利用人数		2,359	2,355	2,308	2,421	2,450	2,389	2,455	2,299	2,360	2,365	2,128	2,412	28,301
平均入所人数		78.6	76.0	76.9	78.1	79.0	79.6	79.2	76.6	76.1	76.3	76.0	77.8	77.5
利用率		98.3	98.1	96.2	97.6	98.8	96.3	99.0	95.8	95.1	95.4	95.0	97.3	97.0
3年度延利用人数		2,351	2,395	2,296	2,421	2,399	2,332	2,339	2,326	2,426	2,394	2,149	2,395	28,223
入所	男	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	5
	女	0	2	1	1	1	0	1	0	2	1	5	1	15
退所	男	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	女	2	2	1	1	0	0	1	4	1	3	2	0	17

(2) 入退所経路 (年度中の入退所者)

区 分	入 所				退 所				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	2	2	1	5	2	0	0	0	2
女	12	2	1	15	15	1	0	1	17
計	14	4	2	20	17	1	0	1	19

5. 入退院 (入院実人数) ※前年度末より継続入院2名

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		男	女	計	退所	死亡	延入院日数	男	女	計	月末入院人数				
入 院	男	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1
	女	1	4	4	3	2	2	2	4	1	5	4	4	4	16
	計	1	4	4	3	3	2	2	6	3	5	4	4	4	17
入院中	退所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0
延入院日数			12	79	84	40	35	13	9	62	33	49	55	63	534
退 院	男	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	女	1	1	1	3	1	1	2	1	1	3	0	3	3	8
	計	1	1	1	3	2	1	2	1	3	3	0	3	3	9
月末入院人数			0	3	2	0	1	1	0	2	0	0	2	1	

〔5〕 面会の状況

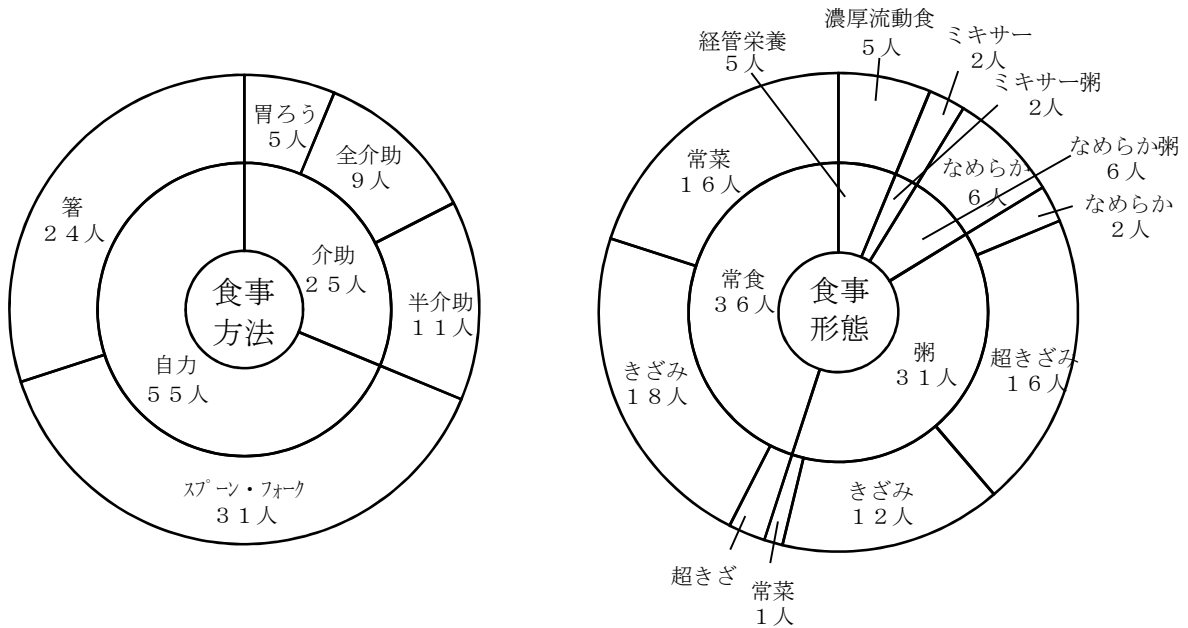
1. 月別面会人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	3年度
人 数	126	134	116	88	107	74	127	9	29	5	106	72	993	500

※窓越しの面会を行ないました。

〔6〕給食の状況

1. 食事の方法及び形態（3月末日現在の入居者）



※なめらか食とは、ミキサーにかけた食材をゼリー、ムース状に固めたものです。

2. 行事食献立

月日	行事	献立
4月1日	開園記念日	押し寿司・すまし汁・天ぷら・煮しめ・漬物
4月11日～ 4月13日	サンドイッチを 食べる会	サンドイッチ・コーンスープ・フライドポテト・フルーツ
5月5日	端午の節句	中華おこわ・すまし汁・赤魚粕漬焼・酢の物・フルーツ(甘夏缶)
5月8日	母の日	深川飯・味噌汁・天ぷら・菜の花お浸し・フルーツ
5月11日～ 5月13日	焼肉を 食べる会	ご飯・焼肉・水餃子スープ・フルーツ
6月19日	父の日	麦とろろご飯・すまし汁・鯖の塩焼き・大根と人参の炒り煮・フルーツ(メロン)
7月7日	七夕	七夕そうめん・天ぷら・あんみつ
7月13日～ 7月15日	餃子 を食べる会	キムチ炒飯・餃子・ワカメスープ・フルーツ
7月23日	土用丑の日	うな井・すまし汁・漬物・フルーツ(りんご缶)
8月15日	終戦記念日	ご飯・すいとん汁・さばの塩焼き・ひじきとれん根煮・フルーツ(スイカ)
8月22日～ 8月24日	流しそうめん を食べる会	そうめん・薬味・フルーツ

9月10日	敬老会	赤飯・すまし汁・とんかつ・高野豆腐炊き合わせ・厚焼玉子・漬物
9月14日～ 9月16日	バーベキュー を楽しむ会	ご飯・鮭のホイル焼き・かぼちゃ・ウインナー・フルーツ
9月23日	秋分の日	さつま芋ご飯・きのこ汁・揚げだし豆腐・胡瓜の和え物・フルーツ
10月19日～ 10月21日	お好み焼きを 食べる会	お好み焼き・フルーツ
10月26日	運動会	おにぎり・味噌汁・鶏唐揚・ナポリタンスパゲッティ・ポテトサラダ・フルーツ
11月7日～ 11月9日	ちゃんこ鍋を 食べる会	ご飯・ちゃんこ鍋・フルーツ
12月19日	忘年会	ご飯・すき焼き・フルーツポンチ
12月31日	大晦日	年越しそば・ふろふき大根・みかん
1月1日～ 1月2日	正月	お雑煮・おせち(伊達巻・黒豆・数の子・きんとん・かまぼこ)・お煮しめ・なます・フルーツ
2月 3日	節分	恵方巻き・すまし汁・菜の花辛し和え・いちご
2月15日～ 2月17日	カップラーメン を食べる会	ミニカップラーメン・おにぎり・焼売・フルーツ
3月 3日	ひな祭り	ちらし寿司・すまし汁・茶碗蒸し・いちご
3月21日	春分の日	山菜おこわ・すまし汁・鱈の西京焼き・里芋そぼろ煮・フルーツ

Ⅲ. ケアハウス桜花

〔1〕 行事等

1. 月別行事

月	行事・活動内容
4年 4月	・喫茶
5月	・喫茶
6月	・喫茶
7月	・喫茶
8月	
9月	・敬老会
10月	・桜花あきまつり ・喫茶
11月	・喫茶
12月	・喫茶
5年 1月	・新春の集い ・喫茶
2月	・節分豆まき ・喫茶
3月	・ひなまつり ・喫茶

2. 定期的に行なう行事等

行事名等	実施状況
月刊誌「桜花」の発行	毎月1回
かんたん体操	毎月2回
健康診断・レントゲン撮影	年1回
インフルエンザワクチン接種	年1回
職員健康診断	年1回

〔2〕 訪問等の受け入れ

1. 見学者

目的	組数
入居希望者	39組

〔3〕 会議等

内容	開催・実施状況等
会議（月例）	職員会議・部門連絡会・在宅利用連絡会・桜花会議・給食会議
消防訓練	総合避難訓練（令和4年11月28日） 参加46名 （令和5年 3月27日） 参加47名
指導監査	静岡市指導監査 令和5年1月24日

〔4〕入居者の状況（3月末日現在の入居者）

1. 入居者の出身地

市町村 区分	静岡市	県内東部	県内中部	県内西部	県外	計
男	19	0	0	0	1	20
女	22	1	2	1	1	27
計	41	1	2	1	2	47

2. 在籍期間別入居者数

期間 区分	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満	6年～ 7年未満	7年以上	計	平均在籍 期間
男	4	3	2	0	4	3	0	4	20	3年11ヶ月
女	4	5	3	0	4	1	1	9	27	6年5ヶ月
計	8	8	5	0	8	4	1	13	47	5年4ヶ月
%	17.0	17.0	10.6	0	17.0	8.5	2.2	27.7	100	
令和3年度%	20.0	11.1	4.4	20.0	11.1	4.4	2.2	26.8	100	

3. 年齢別入居者数

年齢(才) 区分	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100～	計	最高 年齢
男	0	0	5	5	3	5	2	0	0	20	92
女	0	0	1	3	4	6	11	2	0	27	98
計	0	0	6	8	7	11	13	2	0	47	
%	0	0	12.8	17.0	14.9	23.4	27.6	4.3	0	100	
令和3年度%	0	2.2	11.1	17.9	13.3	31.1	20.0	4.4	0	100	

※平均年齢84.4才（男性80.7才 女性87.1才）

4. 介護保険要介護認定人数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均 介護度
人数	9	5	10	2	5	0	0	31	1.71
3年度人数	7	7	8	3	3	0	0	28	1.64

5. 介護保険利用状況（重複利用有）

区 分	訪問介護	通所介護	通所リハビリ	訪問看護	福祉用具貸与	福祉用具購入	計
男	5	1	2	1	7	0	16
女	10	11	1	1	13	0	36
計	15	12	3	2	20	0	52

6. 入浴の状況

区 分	大浴場 (デイ入浴含む)	個人浴室
人 数	40	7
%	85.1	14.9

7. クラブ活動等の参加状況

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
書道	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延人数	8	8	6	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	93
喫茶	回数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	延人数	15	13	16	16	0	14	16	11	15	18	18	15	15	167

8. 入退居

(1) 月別入退居者数

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
		初日 在籍人数	計	45	44	44	42	42	42	43	45	48	48	48	47
入居率	%	90	88	88	84	84	84	86	90	96	96	96	94	89.7	
入居	男	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4	9
	女	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5	
退居	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7
	女	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	6	
末日 在籍人数	男	17	17	16	16	16	16	17	17	20	20	20	20		
	女	27	27	26	26	25	25	26	27	28	28	27	27		
	計	44	44	42	42	41	41	43	44	48	48	47	47		

(2) 入退居経路 (年度中の入退居者)

区 分	入 居				退 居				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	4	0	0	4	0	1	0	0	1
女	4	1	0	5	0	2	4	0	6
計	8	1	0	9	0	3	4	0	7

9. 入居前の生活 (3月末日現在の入居者)

区 分	家 庭				施 設・病 院 等							合 計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	計	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	老人保健施設	一般病院	老人病院	その他施設	計	
男	4	3	10	17	0	0	0	2	0	1	3	20
女	10	1	11	22	0	0	1	2	0	2	5	27
計	14	4	21	39	0	0	1	4	0	3	8	47

10. 事務費負担区分の状況（3月末日現在の入居者）

対象収入による階層区分(年収)		事務費負担額	人数	%
1	～ 1, 500, 000	10, 000	24	51. 1
2	1, 500, 001 ～ 1, 600, 000	13, 000	1	2. 1
3	1, 600, 001 ～ 1, 700, 000	16, 000	3	6. 4
4	1, 700, 001 ～ 1, 800, 000	19, 000	4	8. 5
5	1, 800, 001 ～ 1, 900, 000	22, 000	3	6. 4
6	1, 900, 001 ～ 2, 000, 000	25, 000	2	4. 3
7	2, 000, 001 ～ 2, 100, 000	30, 000	1	2. 1
8	2, 100, 001 ～ 2, 200, 000	35, 000	5	10. 6
9	2, 200, 001 ～ 2, 300, 000	40, 000	2	4. 3
10	2, 300, 001 ～ 2, 400, 000	45, 000	0	0
11	2, 400, 001 ～ 2, 500, 000	50, 000	0	0
12	2, 500, 001 ～ 2, 600, 000	57, 000	0	0
13	2, 600, 001 ～ 2, 700, 000	64, 000	1	2. 1
14	2, 700, 001 ～ 2, 800, 000	70, 300	0	0
15	2, 800, 001 ～	70, 300	1	2. 1
計			47	100

〔5〕 ゲストルーム利用状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	実人数		0	2	1	2	1	7	7	5	0	0	1	0
延利用日数		0	4	3	30	31	19	46	33	0	0	4	0	170
目的	体験入居	0	2	1	2	1	7	7	5	0	0	1	0	26
	利用者家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔6〕給食の状況

1. 行事食献立

月日	行事	献立
4月1日 昼食	開園記念日	お祝膳(そば・たけのこご飯・春の天ぷら・煮物・うどんの酢味噌和え・果物) 祝いまんじゅう
5月5日 昼食	端午の節句	中華おこわ・味噌汁・まぐろ竜田揚げ・ごま酢和え・柏餅
5月8日 昼食	母の日	フレッシュトマトのナポリタン・大根とベーコンのスープ・ひじきサラダ・南瓜プリン
5月29.30日 昼食	食べる会	醤油ラーメン・じゃがバター・果物
6月19日 昼食	父の日	焼き鳥井・味噌汁・含め煮・すいか・枝豆塩茹
7月7日 昼食	七夕	七夕そうめん・夏の天ぷら・メロン
7月23日 昼食	土用の丑	鰻のひつまぶし風・吸い物・茶碗蒸し・ケーキ・紅茶
7月28日 昼食	食べる会	ご飯・汁椀・炭火焼(ほっけ・チキン・なす・とうもろこし・ピーマン・玉葱)・果物
9月10日 昼食	敬老会	お祝膳(赤飯・秋の天ぷら・煮物・玉子焼き・さつまいも茶巾・果物)・渡り蟹味噌汁 祝いまんじゅう
9月23日 昼食	秋分の日	肉うどん・大根サラダ・味噌田楽・おはぎ
10月31日 昼食	ハロウィン	ご飯・味噌汁・かぼちゃのコロッケ・こんにやくと野菜の煮物・果物
11月29.30日 昼食	食べる会	ご飯・味噌汁・さんま塩焼き・果物
12月22日 昼食	冬至	ご飯・味噌汁・鶏もも肉の柚子こしょう焼き・かぼちゃ煮・フルーツあんみつ
12月24日 昼食	クリスマスイヴ	えびピラフ・コーンスープ・ローストチキン・いんげんサラダ・コーヒー又は紅茶 果物
12月31日 夕食	大晦日	年越しそば・ごまおにぎり・漬物・味噌田楽・果物
1月1・2日 昼食	三が日	雑煮・おせち盛り合わせ・果物
1月7日 朝食	七草	七草粥・がんも煮・青梗菜の生姜浸し・ホットミルク
1月15日 朝食	小正月	小豆粥・味噌汁・厚焼玉子・漬物・ホットミルク
2月3日 昼食	節分	オープンいなり・豚汁・鰯の落とし揚げ・果物
3月3日 昼食	桃の節句	ちらし寿司・吸い物・ぬた和え・菜の花浸し・桜餅
3月21日 昼食	春分の日	そばろ井・味噌汁・もずく酢の物・ヨーグルト和え

※ その他、誕生日食・その場で選べる選択食・入居者からのリクエスト食を提供。

IV 在宅サービス

【1】麻機園（ショートステイ）

1. 利用状況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
利用者	男	2	5	5	4	4	6	5	3	7	4	5	5	55
	女	14	12	11	13	15	16	15	11	12	15	17	16	167
計		16	17	16	17	19	22	20	14	19	19	22	21	222
延利用人数		282	333	311	326	356	407	379	237	250	307	344	323	3900
1日平均利用人数		9.4	10.7	10.4	10.5	11.5	13.6	12.2	7.9	8.1	11.3	12.3	10.5	10.7
1人平均利用日数		17.6	19.6	19.4	19.2	18.7	18.5	19.0	16.9	13.2	18.4	15.6	15.5	17.6
利用率		47.0	53.7	51.8	52.6	57.4	67.8	61.1	39.5	40.3	56.3	61.4	52.6	53.5
3年度利用率		46.2	48.7	44.3	46.8	53.7	51.2	54.2	48.3	61.5	69.8	55.0	50.5	52.5

2. 利用状況の比較

年度	利用人数			延利用人数	1日平均利用人数	1人平均利用日数
	男	女	計			
4年度	55	167	222	3,900人	10.7人	17.6日
3年度	29	197	226	3,836人	10.5人	17.0日

※ 年間利用者の男女比率：男性 24.8%、女性 75.2%

3. 介護度別実利用人数

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
		要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	2	1	1	2	0	2	0	0	0	1	2	2	17	7.3
要介護2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	2	1	2	2	12	5.1
要介護3	3	5	6	7	8	10	9	5	8	6	7	9	9	95	40.1
要介護4	6	7	6	6	6	8	7	6	6	8	9	9	7	85	36.3
要介護5	2	3	3	2	2	3	2	2	2	1	2	2	1	25	10.7
計		16	17	16	17	19	22	20	14	19	19	22	21	234	100
平均要介護度		3.06	3.53	3.63	3.41	3.26	3.59	3.35	3.64	3.42	3.53	3.32	3.14	3.40	
3年度要介護度		3.00	3.11	3.39	3.39	3.14	3.06	3.25	3.40	3.32	3.47	3.59	3.59	3.32	

【2】麻機園デイサービスセンター

〔1〕行事・活動

1. 日課

時 間	1 日 の 流 れ	備 考
9 : 3 0	利用者来園 ・手洗い、うがい お茶のサービス ・健康チェック ・職員挨拶	連絡帳受付 昼食人数チェック
1 0 : 1 5	リハビリ体操 ・健口体操	
1 1 : 3 0	昼食 休養 ・TV ・談話	
1 2 : 4 5	入浴開始 選択活動	
1 4 : 3 0	グループ活動	
1 5 : 3 0	おやつ ・談話等	
1 6 : 0 0	唄の会	
1 6 : 2 5	トイレ ・連絡事項	連絡帳返却
1 6 : 3 5	利用者退園準備	
1 6 : 4 0	利用者退園	送迎車出発

2. 月別実施内容

月	行 事	活 動 内 容
4年 4月	クレープ作り	リハビリ体操、棒体操、レクリエーション、ラジオ体操、カレンダー作り、歌、誕生会
5月	柏餅作り	〃
6月	バナナ蒸しパン作り	〃
7月	豆腐白玉あんみつ作り	〃
8月	かき氷作り	〃
9月	どら焼き作り	〃
10月	緑地公園へ遠足	〃
11月	パンケーキ作り	〃
12月	クリスマスバイキング	〃
5年 1月		〃
2月	たこ焼き作り	〃
3月	桜餅作り	〃

3. 運営推進会議の開催状況

第1回 令和4年7月21日

第2回 令和5年3月16日

〔2〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別登録人数・利用人数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分														
新規登録人数		1	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	9
登録廃止人数		0	0	1	0	1	0	1	2	1	3	0	0	9
登録人数	男	3	4	4	3	3	3	3	3	2	2	1	2	
	女	16	17	18	19	19	19	18	18	18	17	15	15	
	計	19	21	22	22	22	22	21	21	20	19	16	17	
3年度登録人数		18	17	16	16	19	16	19	18	18	16	16	16	
利用実人数		19	19	19	20	19	20	20	17	18	16	14	15	
実施日数		21	22	22	21	23	22	21	22	18	20	20	22	254
延利用人数		168	167	200	194	177	200	205	185	161	118	136	161	2,072
1日平均利用人数		8.0	7.6	9.1	9.2	7.7	9.1	9.8	8.4	8.9	5.9	6.8	7.3	97.8
送迎		299	293	359	351	328	361	368	328	282	206	242	277	3,694
入浴		150	159	183	177	170	182	162	150	134	95	107	130	1,799
食事		165	167	200	194	177	200	205	185	161	118	136	161	2,069

※送迎は往復で1、片道で0.5

2. 利用状況の比較（定員18人）

区分	実施日数	年間延べ 利用人数	1日平均 利用人数	利用率
4年度	254日	2,072人	8.2人	45.3%
3年度	255日	2,068人	8.1人	45.1%

3. 利用者の家族構成（3月末日現在の利用者）

家族構成	4年度	3年度	2年度
独居老人世帯	1	1	2
老人夫婦の世帯	4	3	1
その他の世帯	12	14	15
計	17	18	18

4. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

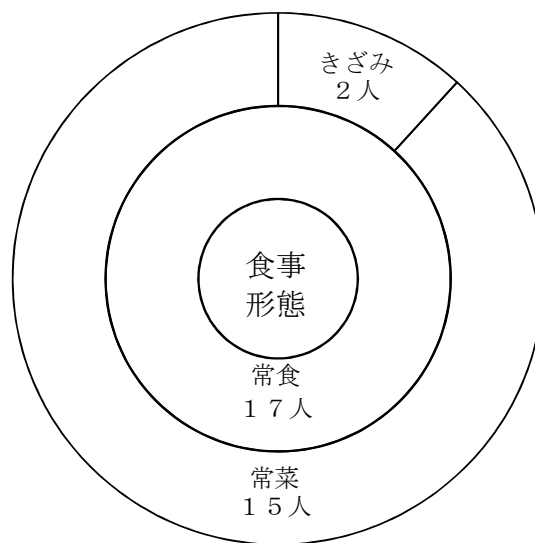
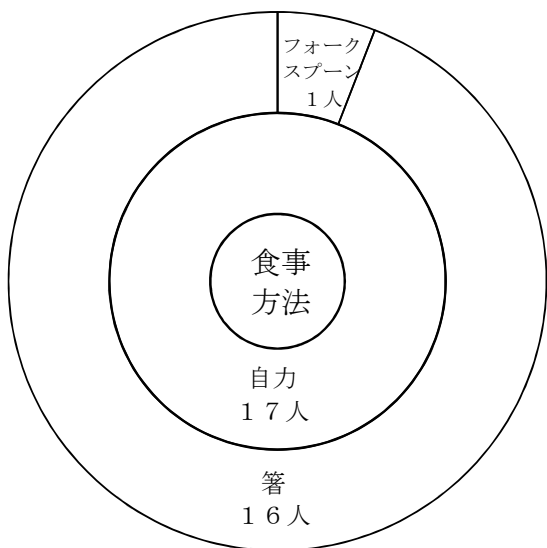
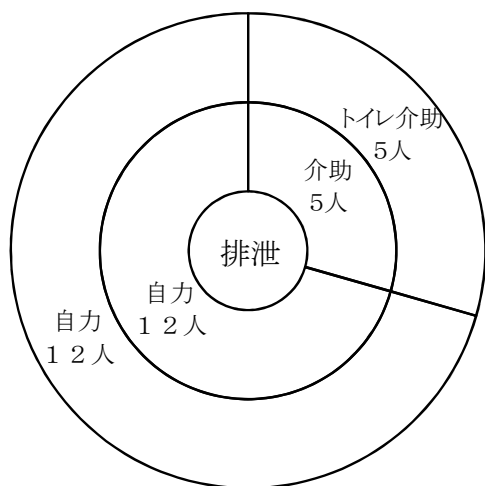
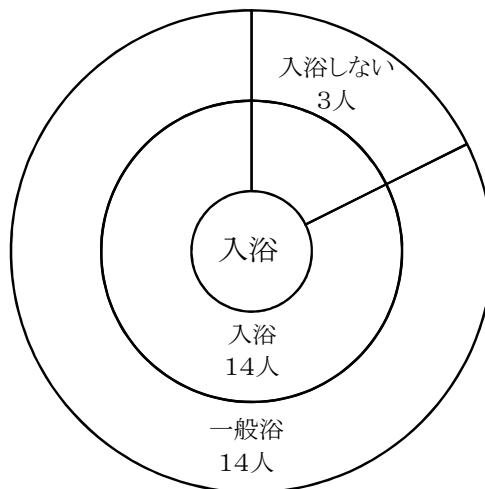
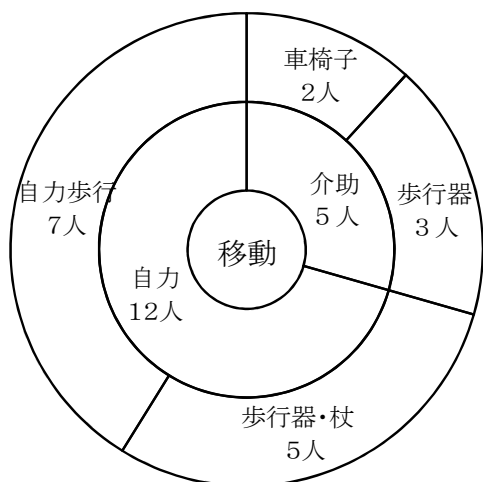
年齢(才) 区分	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100～	計	最高 年齢
男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	90
女	0	0	0	1	2	5	5	2	0	15	99
計	0	0	0	1	2	6	6	2	0	17	99
%	0	0	0	5.9	11.8	35.3	35.3	11.8	0	100	

※平均年齢 89.1才（男性 89.0才 女性 89.1才）

5. 要介護度別利用人数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
事業 対象者	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実人数	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	4	2	0	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	実人数	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	42	19.9
	延人数	24	17	33	34	21	33	34	31	22	18	24	26	317	15.4
要介護1	実人数	6	6	6	5	5	5	5	4	5	5	4	4	60	28.4
	延人数	56	62	54	46	42	51	51	46	46	33	35	34	556	27.1
要介護2	実人数	5	4	5	6	5	6	7	5	6	5	3	3	60	28.4
	延人数	55	50	68	63	65	68	75	64	58	38	35	35	674	32.8
要介護3	実人数	3	4	2	3	2	2	3	2	2	2	2	3	28	13.3
	延人数	27	34	32	42	35	35	17	22	18	19	20	30	331	16.1
要介護4	実人数	1	1	2	1	2	2	3	2	2	1	2	2	21	10.0
	延人数	2	2	13	5	10	9	28	22	17	10	22	36	176	8.6
要介護5	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	実人数	19	19	19	20	19	20	20	17	18	16	14	15	211	100
	延人数	168	167	200	194	177	200	205	185	161	118	136	161	2,072	100
平均要介護度		1.6	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	2.2	1.8	

6. 日常生活動作能力（3月末日現在の利用者）



【3】麻機園ヘルパーステーション

〔1〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別利用世帯・人数

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
世帯	登録	26	26	26	27	26	25	26	26	26	26	26	26	312	
	派遣	26	26	26	27	25	25	26	26	26	26	26	26	311	
	3年度派遣	29	28	28	28	28	27	27	26	28	27	26	26	328	
人数	登録	男	8	8	8	8	8	7	7	7	7	8	8	7	91
		女	19	19	19	20	19	19	20	20	20	20	20	21	236
	派遣	27	27	27	28	27	26	27	27	27	27	28	28	28	327
	3年度派遣	30	29	29	29	29	28	28	27	29	28	27	27	340	

2. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

区分	年齢(才)										計	最高年齢
	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～			
男	0	0	1	1	2	2	1	0	0	0	7	93
女	0	0	2	3	5	4	6	1	0	0	21	98
計	0	0	3	4	7	6	7	1	0	0	28	98
%	0	0	10.8	14.3	25.0	21.4	25.0	3.5	0	0	100	

※平均年齢 84.5才（男性 83.4才 女性 84.9才）

3. 利用者の要介護度

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
事業対象者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	3.1
要支援1		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	11.0
要支援2		7	7	7	7	6	6	5	5	5	4	5	5	69	21.1
要介護1		9	9	9	10	10	9	9	9	10	12	12	13	121	37.0
要介護2		4	3	3	3	3	3	4	4	3	3	2	1	36	11.0
要介護3		3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	48	14.6
要介護4		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	7	2.2
要介護5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		27	27	27	28	27	26	27	27	27	28	28	28	327	100
平均要介護度		1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	

4. 対象世帯数

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	3年度
独居老人世帯	21	21	21	22	21	20	21	21	21	20	20	20	249	259
老人夫婦世帯	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	54	40
老人同居世帯	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	41
65才未満世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	27	27	28	27	26	27	27	27	28	28	28	327	340

5. 派遣状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	3年度
当初計画日数	89	89	89	90	92	90	91	89	90	89	85	94	1,077	1,088
実稼働日数	89	89	88	89	91	90	83	88	88	91	85	92	1,063	1,079
派遣 人数	実人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	60
	延人数	283	276	279	277	300	298	325	267	290	285	276	290	3,446

※ 派遣ヘルパーの延べ人員及び実稼働日数：前年度比 99%、対象世帯数 101%

6. 活動時間

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	3年度
身体介護	153	147	147	153	168	165	185	150	161	164	159	165	1,917	1,711
生活援助	59	53	63	61	63	64	74	69	75	73	68	80	802	823
計	212	200	210	214	231	229	259	219	236	237	227	245	2,719	2,534

〔2〕 介護予防・日常生活支援総合訪問型生活援助サービス事業の状況

※令和4年度のご利用はありませんでした

【4】麻機園ケアプランサービス

〔1〕 利用者の状況

1. 実施状況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		要介護認定	訪問調査	10	10	10	10	9	10	10	10	8	10	10
申請代行	8		11	5	8	7	8	8	9	9	7	8	8	96
ケアプラン作成数		75	78	74	72	71	68	76	76	76	78	81	77	902
3年度ケアプラン作成数		66	70	70	74	73	75	75	73	73	73	70	74	866

2. ケアプラン作成の状況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
要介護1		29	29	26	26	26	22	24	22	25	29	29	28	315	35.8
要介護2		19	18	17	18	17	18	21	20	19	16	16	17	216	24.5
要介護3		16	18	18	16	15	15	14	14	14	15	14	16	185	21.0
要介護4		8	8	8	8	9	9	10	11	8	6	8	10	103	11.7
要介護5		3	5	5	4	4	4	5	6	6	7	7	6	62	7.0
計		75	78	74	72	71	68	74	73	72	73	74	77	881	100
平均要介護度		2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.3	2.2	2.3	2.3	2.3	

3. 介護予防プランの作成状況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
要支援1		19	21	21	22	21	22	20	20	17	20	22	22	247	54.6
要支援2		19	17	18	17	17	17	17	17	20	15	15	16	205	45.4
計		38	38	39	39	38	39	37	37	37	35	37	38	452	100
城北地域包括支援センター		34	35	35	36	35	35	32	33	32	31	32	34	404	89.3
千代田包括支援センター		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6	1.3
長尾川地域包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.7
城東包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.7

八幡山地域包括支援センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.7
服織包括支援センター	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	6	1.3

〔2〕新たなケアプラン作成の依頼先及び廃止の状況

1. 依頼先の状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
家族から直接	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	6	17.5
民生委員等紹介	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	10.0
支援から介護へ	0	0	0	0	1	1	2	0	0	3	0	0	7	17.5
地域包括支援センターから紹介	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	2	2	10	25.0
法人職員の紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人内施設	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.5
その他	0	1	1	0	2	0	1	1	1	1	2	1	11	27.5
計	0	4	2	3	4	1	5	2	2	7	4	5	39	100

2. 廃止の状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
介護から支援へ変更	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	7.1
病院・施設への入院又は入所	1	1	3	1	0	1	1	3	0	1	2	1	15	53.6
死亡	0	2	1	1	0	1	0	0	2	1	2	1	11	39.3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	3	4	3	0	2	1	3	2	2	4	3	28	100

〔3〕相談の状況

1. 相談方法の比較

区分		電話	来所	訪問	夜間	職員	計
4年度	件数	29	0	3	0	0	32
	%	91.0	0	9.0	0	0	100
3年度	件数	42	0	4	0	0	46
	%	91.3	0	8.7	0	0	100

2. 相談ケースの状況

状況	寝たきり	認知症	1人暮らし	虚弱	準寝たきり	生活自立	その他	計
件数	10	4	0	18	0	0	0	32

3. 相談内容

内容	介護方法	福祉用具	在宅福祉サービス	保健医療	施設入所	住宅改修	介護保険	介護予防	その他	計
件数	0	3	2	0	8	0	13	6	0	32
%	0	9.0	6.0	0	25.0	0	41.0	19.0	0	100
3年度%	0	0	0	0	0	0	80.4	15.3	4.3	100

4. 相談への対応

対応	情報提供・指導等	他機関 斡旋	サービス 調整	サービス 申請代行	その他	計
件数	0	0	25	7	0	32
%	0	0	78.0	22.0	0	100
3年度%	0	0	100	0	0	100

社会福祉法人東桜会役員等

理事長	長谷川達也	評議員	岡田善雄
副理事長	秋山通	評議員	山田誠
理事	伊藤靖	評議員	平井哲男
理事	良知克彦	評議員	帯金武
理事	長島鈴江	評議員	田村みね子
理事	佐藤勝洋	評議員	船城秀樹
理事	海野隆由	評議員	伊藤秋一郎
理事	小塚博	評議員	飯田道隆
理事	杉浦徹	評議員	池田祐治
理事	望月利孝	評議員	繁田修
監事	永野守	評議員	望月公二
監事	望月敏弘		

発行日 令和5年5月25日
法人名 社会福祉法人 東桜会
所在地 〒420-0962
静岡県葵区東527番地の1
電話 (054)247-8739
FAX (054)247-8640
ホームページアドレス
<https://www.sakura.or.jp/>